

日本一健康文化都市の実現に向け

新たに3つの構想に着手



袋井市長 原田英之

市長就任のあいさつ

任期満了に伴い4月12日に告示が行われた袋井市長選挙は、現職の原田英之市長が無投票で再選を果たしました。合併による新市誕生から5年目。新袋井市2代目の市長として、再選を果たした原田市長が引き続き市政を力強くけん引します。

（副）秘書広報課秘書係 ☎44-3103

原田市政の2期目がスタート!!



当選証書の付与を受ける原田英之市長(4月20日)

このたび、多くの市民の皆様から温かいご理解とご支援を賜り、2期目の市政をお預かりすることとなりました。

皆様からお寄せいただいた深い信頼と大きな期待に責任の重大さを痛感するとともに、それに応えるべくより一層精進しなければならぬと、改めて身の引き締まる思いでございます。

旧袋井市と旧浅羽町の合併による新「袋井市」の初めての4年間で、私は、市民の融和を図るとともに、健康づくり運動の推進や掛川市との病院統合計画を進めるなど、日本一健康文化都市への礎を築いてまいりました。

2期目にあたるこれからの4年間は、直面する経済不況に対応した市民生活のセーフティネットを充実させるとともに、「袋井らしさ」を発揮できるまちづくりを目指して、「日本一健康文化都市構想」に加え、次の3つの構想の実現に向け取り組

んでまいりたいと思います。

1 健康福祉都市構想

はじめは、私たちの生活の基盤となる医療と健康、福祉の分野のより一層の充実です。

まず、袋井市民病院と掛川市立総合病院との統合による新病院の建設をスムーズに進めるとともに、現市民病院の有効活用を考えるなど、安全安心な医療体制の確立に努めます。

また、保育所・幼稚園の整備やケアホーム・グループホームの新設などにより、子育て支援や高齢時代に対応した福祉支援を進めていきます。

2 健康田園都市構想

次に、「農」を活かしたまちづくりをテーマとする、農業と調和した袋井らしいまちづくりの展開です。

耕作放棄地や遊休農地の解消を進めるとともに、市民の皆さんがごぞつて気軽に農業に取り組んだり、楽しんでいただくことができるシステムづくりを目指します。

また、景観条例や屋外広告物条例

の制定、バイオマスタウン構想の実践、墓地公園の開設なども進めます。

3 健康産業都市構想

3つめは、産業とにぎわいの創出です。

産業イノベーション機構の設立や小笠山山麓への企業団地の造成などに取り組むことにより、袋井市からの新たな情報・技術の発信や育成、産業と雇用の創出を推進します。

また、JR袋井駅舎の改築や駅周辺の整備、国本地区のにぎわい新都心まちづくり計画の推進に取り組みます。

構想の実現に向け、財政状況が非常に厳しい中で施策の推進を図らなければなりませんので、少ない経費で効率的な行政を行うための徹底した行政改革を進める予定です。

今後とも、なお一層のご理解とご支援をくださいますようお願い申し上げます。